



直営堅持に向けた現業職員の結集!!



7月11日(金曜)午後6時15分より、地場産業振興センター第4研修室にて『第34回市労連現業連絡会総会』が行われ、山本 哲也議長によって進行し、今総会における2024年度経過報告、2025年度運動方針等がそれぞれ執行部より述べられたが、厳しい現状を打破する「画期的な策(方向性)」と迄は程遠い、まさに震災復興状況と同様に前途多難な状況に変わりはなく、焦らず一步一歩進むしか我々には道(将来)がない気がする内容である。

各現業職場における民間委託化の加速による組織力低下が著しく現れ、このままでは組合員が定年を迎える前に路頭に迷うことでも現実味を帯び、坂本 厚志副委員長からの指摘にもあった「自治労が全面的な議案書」が際立つ現状。以前なら公企労が発言力も活発であったものの…現在は公企現業部会が一昨年に解散しており、残っている組合員等は現業集会(総会)等にも不参加(消極的姿勢)であり、今後も見守るしかないのが現状であるらしい。市労連現業連絡会における今後の運動体制ならびに組織体制(統合も含む)等、抜本的な見直しが迫られる。もっと、生の心の声(怒り)が聞こえる『ストライキ』するぐらいの勢いがほしい。

〈松本 由紀夫 現業連絡会 会長〉

この一年、市職労・公企労・市従労のそれぞれの課題について、運動の推進を考えて参りました。

要求交渉に関して言えば特に「人員」ありきであり、全国では新規採用の再開に踏み切っている自治体は多くあります。それぞれ受験する人がいない、採用されても直ぐに辞めてしまう…などの問題等を抱えているのが現状であります。

では、金沢市はどうなのか?このまま10年過ぎてしまえば「非常に情けない自治体」に成り下がっていく事が懸念される訳で、そればかりか石川県全体を見ても現業職員の数が少なく、能登半島地震の復興に携わった各自治体の方達からも『能登に現業職員の姿が見当たらない!!』の声が多く上がり、これでは復興作業も渉る筈もないと落胆させるほどであります。



特に「再公営化」においても非常に難しい問題であり、現業職員の方々が居て、会計年度職員等をまとめて一緒に業務(仕事)を行うならまだしも、全てを現業職員(新たな採用は行わず)抜きの形で進めることを、人事当局および副市長等は画策しているところであります。

そこで、7月20日(日曜)に投開票が行われる『参議院議員選挙』には、既に比例区で出馬を表明した“岸まきこ”さんの当選こそが、自治労組織の発言力は勿論、公務に働く全ての現業職員に対する働き方や賃金の改善に対しても「好材料」になることは間違ひありませんし、各要求に対しても自治労に結集する組合員達に、耳を傾けることにも繋がる闘いでもあります。ひとり一人の声掛けで、我々の待遇改善に一歩でも近づく「1票」を積み重ねましょう。

連日、非常に暑い日が続いているが、毎日の誇りある仕事の「質」を落とすことなく、頑張り抜いて参りましょう!!と開会に先だっての挨拶をされました。

組織力が問われる「参議院議員選挙」 今こそ金沢市従労の団結力&行動力を見せる時!!



〈東 正彰 金沢市職 委員長〉

現業職場を取り巻く環境には、非常に厳しい状況であります。限られた職員数の中でも、高い現場力を発揮し、誇りと責任を持って『市民サービス』の最前线で活躍されていることに敬意を表します。

今後も、市民の安心と安全、そして質の高いサービスを維持していくためには、公正な労働に対する「適正な対価」というものを求めていくことが当然ではあります。物価高騰が続き、実質賃金の低下も続いている。組合員の生活を考えても今の賃金の引上げは到底納得のいくものではなく、特に近年は若年層の賃金の引上げ改善は進んでいるものの、中高年層の賃金については充分なものではありません。

働く全ての組合員の賃金底上げこそが「職員の生活」および「仕事への意欲(モチベーション)」を高め、優秀な人材の離職の防止に繋がり、市民サービス向上にも繋がっていくものと考えます。

だからこそ、今年度も皆さまのお力添えを頂きながら組合員の待遇や手当の改善に粘り強く、当局と交渉を重ねて行きます。

また、経費の削減だけを念頭に置いた『安易な民間委託』や充分な人員配置が行われないなど、公共サービスの質が損なわれることがあってはなりません。市労連に結集する各単組の意思統一を図りながら、引き続き当局に対して「声」をあげ続けて参ります。



第34回 市労連現業連絡会
市労連現業連絡会



〈宮鍋 正志 自治労石川県本部 中央執行委員長〉

厳しい労働環境中、質の高い公共サービスの提供に日夜努力されていることに敬意を表します。

春闘が終結し、人勧期の取り組みへと移っておりますが、2025春闘は「全ての働く人の生活を持続的に向上させる」観点から、連合では賃上げ目標を「5%」を設定し、取り組みを致しました。物価高や人材確保の課題を背景にして要求に対する満額回答が相次ぎ、2年連続で5%を超える結果を残しました。

自治労石川県本部と致しましては、人事委員会勧告が県内の自治体、公共民間単組に与える影響の大きさを踏まえ、連合官公連絡会および県職労とも連携し、対策を強化すると共に人事委員会対策ならびに交渉へ取り組んで参ります。

政策実現に向けた『参議院議員選挙』比例代表選挙の取り組みについて、自治労組織内候補“岸 まきこ”が馬を出しており、全国比例区における情勢について「立憲民主党」の支持率が伸び悩み、今回の選挙(比例区)における12人の立候補のうち、当選者数が8名程度と予想されており、その中でも知名度の高い候補者が5名(蓮舫氏等)おり、極めて厳しい選挙戦となるのは間違いないかもしれません。政治に『現場の声を届ける!!』意味でも、現場を理解し、現状に即して政策を提案できる私たちの代表(代弁)者として先頭に立つのが、長年にわたり地方自治体の職員、現場で汗を流した経験を持つ“岸 まきこ”であります。組合員の結集力(得票数)が、そのまま自治労の力量を示す数値となります。

是非とも圧倒的な得票数で、再び国政に戻さなければなりません。今回の比例代表選挙『岸 まきこ』と“個人名”を書いてこの得票になります。最後まで、よろしくお願い致します。

2025年 市労連現業連絡会役員

役 職	氏 名	単 組 名	職 場 名
会 長	松 本 由 紀 夫	市 従 労	西 部 管 理 セ ン タ ー
副 会 長	田 中 明 美	市 職	栗 崎 共 同 調 理 場
事 務 局 長	英 達 矢	市 職	中 央 共 同 調 理 場
副 事 務 局 長	坂 下 英 之	市 従 劳	自 治 労 石 川 県 本 部 専 従
幹 事	西 村 一 樹	市 従 劳	西 部 環 境 エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー
幹 事	野 村 建 太	市 従 劳	ご み 減 量 推 進 課 (本 庁)
幹 事	米 沢 慎 吾	市 職	紫 锦 台 中 学 校
幹 事	橋 本 梨 香	市 職	教 育 総 務 課 (本 庁)
幹 事	英 徹 朗	市 職	小 立 野 共 同 調 理 場
幹 事	山 田 達 弥	公 企 労	水 道 修 繕 セ ン タ ー

自治労石川県本部『目標2000票!!』獲得へ向け、みんなで投票へ行きましょう!